

安心した地域生活を送れるようにするための取組みについて

協議の方向性について

協議期間：令和5年度～令和6年度第2回協議会

議題：災害の備えを充実する取組みについて

医療的ケアを必要とする方とその家族のための災害の備えを啓発する取組みについて検討。

具体的な検討内容

- ・啓発冊子「医療的ケア児等の災害への備え」
- ・静岡市医療的ケア児等のための「災害ノート」
モデル事例：つくば市災害時対応ノート
- ・医療的ケア児等版ヘルプカード

前回協議会における「災害ノート」の論点

- ・災害ノートは、当事者のためや支援者のためなど、“誰のため”に作成するのか。
- ・災害時のみに使うなど、目的が限定的だと利便性が高くない。
- ・ノートの媒体（電子or紙、サイズ感、文字の見やすさ、持ち運びやすさなど）をどうするか。
- ・作成して終わりではない。効果的な運用方法について。
- ※災害時だけでなく、医ケア児等が全般的に使用できるツール。まずは、紙媒体ですぐに運用に移れるものを作成し、改訂等を重ねて、電子化のタイミングを検討する。

令和6年度第3回協議会以降

議題：安心した地域生活を送れるようにするための取組みについて

災害対策は平時の準備・つながり強化に通じるため、前回までの議題を包含した安心した地域生活に向けた取組み等を検討。

具体的な検討内容（案）

- ・（仮称）静岡市医ケア児等ハンドブック
素案の詳細は、後述。
モデル事例：岐阜県「地域でくらすかけしノート」

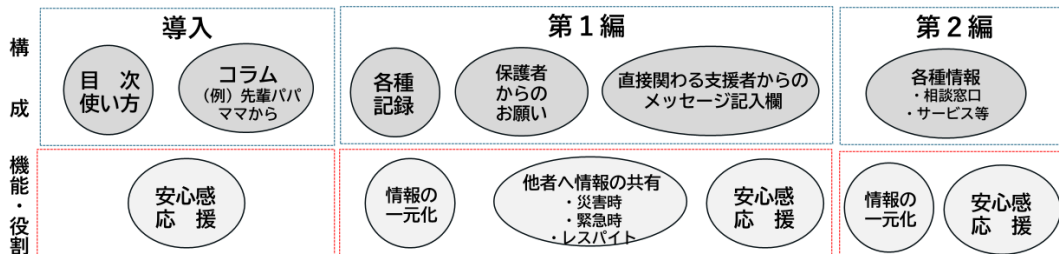
ハンドブックの基礎となる考え

- ・誰のために作成するのか。
⇒当事者のため。
- ・目的が限定的。当事者らの負担感。
⇒安心した地域生活に向けて、目的を拡大。果たす役割や機能は、後述する素案のとおり。
当事者らの各種情報を集約するツールを目指す。
- ・ツールの媒体、サイズ感について。
⇒紙媒体（A4サイズ）で、プロトタイプ completion を目指す。
その後、運用とともに、媒体やサイズ感の改良を施す。

静岡市医ケア児等ハンドブックの素案

コンセプト案：“孤育て”を予防するセーフティネット～つながりをつくる～
これまでのつながりの記録とこれからのつながりの情報

全体像（初期構想）



◀ご意見等をいただきたいです

入手法：
各種窓口等の利用者との接点で配布
市HPからのダウンロード
工夫1：
各利用者の個性がでる第1編と一般生の高い情報を集約した第2編を明確に区分。
工夫2：
随所でQRコードを活用（関連ホームページや動画などへの導線、更新の負担減少）
工夫3：
岐阜県「地域でくらすかけしノート」を参考に、ページ空白部を意図的に残す。
この空白部に、既定の記入項目に該当しないような内容を各利用者が書き込み可能。

ver1.0までの作成手順案

		令和6年度					令和7年度				
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
協議会	構成・作業										
行政	構成・作業										
医ケアCo	関係機関ヒアリング										
委員	確認										
当事者	サガリ体験										

◀ご意見等をいただきたいです

モデル事例である岐阜県「地域でくらすかけしノート」を参考とし、初動として、行政及び市が委託する医療的ケア児等コーディネーターによって、原案を作成。

本協議会委員へ随時、確認を依頼。また、個人の情報を記入する部分のみ、当事者やご家族らに体験していただく機会を設ける。

令和7年度第1回協議会にて、各ご意見等を反映させた状態のハンドブックを共有し、令和7年8月頃のver1.0発行を目指す。